



高小だより

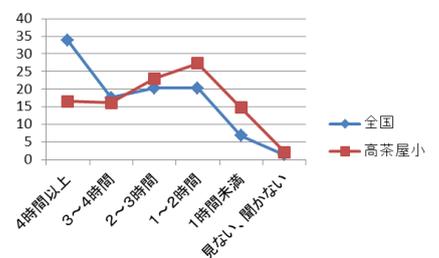
津市立高茶屋小学校
平成29(2017)年11月
文責：校長 伊庭 正彦

全国学力・学習状況調査(児童質問紙調査)から

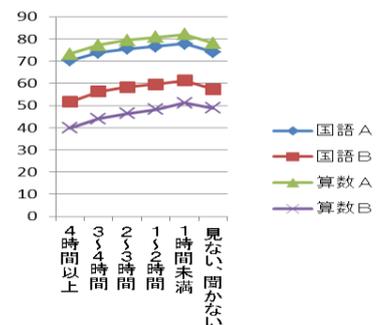
9月号で4月に6年生対象に実施された全国学力・学習状況調査の教科に関する調査(学力面)について高小の現状や課題等をお伝えしましたが、今回は児童の生活環境や学習環境に関する質問紙調査結果から、全国の平均と比較しながら、高茶屋小の子どもたちの現状や課題等を考えてみたいと思います。

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか？(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)

右のグラフは、全国と高茶屋小の比較です。高小6年生の3人に1人は、学校のある平日になんと4時間以上テレビ等を見ています。これは全国平均の2倍です。1日は24時間です。これは、みんなに平等に与えられています。7時半に家を出て4時半に帰宅するとすれば、登下校の時間を含めて学校で過ごす時間は9時間です。睡眠時間を8時間、朝食・夕食や入浴等に2時間取れば、 $24 - 9 - 8 - 2 = 5$ で、平日に自由に使える時間は5時間しかありません。この5時間をどう使うかです。



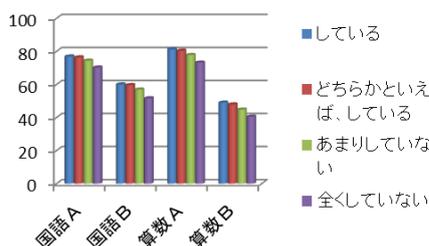
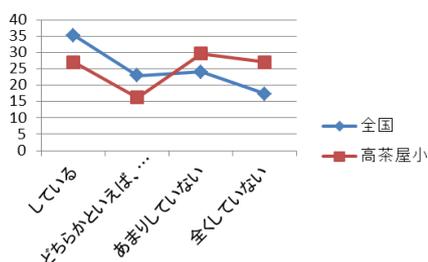
次のグラフは、全国の6年生約100万人のデータです。平日のテレビ等を見る時間と学力調査の平均正答率との関係です。当たり前ですけど4時間以上見る小学生の学力は低くなっています。1日24時間をどのように使うかを考えなくてはなりません。テレビの見すぎやゲームのやりすぎを低学年のうちからコントロールする習慣を身につけることが大切ではないかと思えます。



テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか？

下の左側のグラフは、ルールを決めることについて全国と高小の比較です。右側のグラフは、ルールを決めることと学力との関係(全国)です。

高小ではルールを決めている家庭は少ないようですが、ルールを決めることで家庭学習の時間の確保につながります。低学年の頃から、テレビを見る時間、ゲームをする時間等の家庭でのルールを決めておくことが大切です。

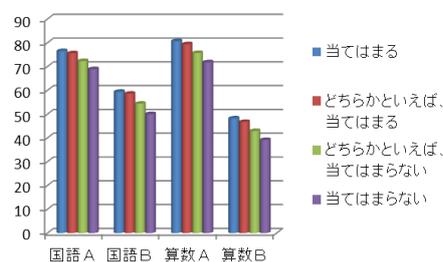


まずは、お子さんと約束やルールについて話し合ってみたらいかがでしょうか。

他にも、今年度の結果で全国との差が大きい気になる項目は、次の表のようなものがありました。

	質問	答え	全国	高茶屋小
1	自分にはよいところがあると思いますか	当てはまる	38.6%	25.7%
2	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	そう思う	32.9%	55.4%
3	読書は好きですか	当てはまる	49.0%	59.5%

表の1の「自分のよいところがありますか」という質問に対して、「当てはまる」と答えた人が全国平均に比べて10ポイント以上少なくなっています。諸外国に比べて「日本の子どもは自己肯定感が低い」と言われていますが、高茶屋小の子どもはさらに低い数字が出ています。右のグラフは全国の6年生のこの質問と平均正答率との関係です。自分によいところがあると感じている子どもほど、学力が高い傾向があらわれています。

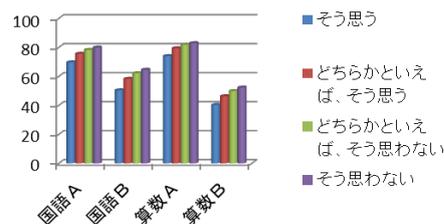


子どもを叱って「どうせ、僕なんか……」、「やっても、できないし……」と言わせるより、「ほめて伸ばす」「認めて伸ばす」ことも大切ではないか



と思います。学校でも様々な活動の中で、自己有用感（他者との関係の中で、「自分は役に立っている」など、自分の存在を価値あるものと受け止められる感覚）が持てるように努めています。

次に表の2の「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」で、「そう思う」と答える子どもたちの多さは、高茶屋小の大きな弱みになっています。右のグラフは全国の平均正答率との関係です。文章を書くこと難しいと感じているほど、学力が低い傾向があらわれています。学校では授業の最後に「振り返り」として短い文章を書かせるように努めています。少しずつでも書くことに慣れさせて、文章を書くことの苦手意識をなくしていけたらと考えています。



最後に表の3の「読書は好きですか」の質問です。これは高茶屋小が全国平均を10ポイント近く上回っています。読書好きの子どもが多いことは、学校としてもたいへん嬉しいことです。読書好きと全国の平均正答率の関係を示す右のグラフでも、読書が好きな子どもほど学力が高くなっています。国語、算数ともに、特にB問題（主として活用に関する問題）で、その傾向が強くなっています。学校でも、読書好きな子どもをさらに増やしていきたいと考えています。

